



Before

After



拝殿 a hall of worship

南日本新聞記事(H21.3.12)

宮大工の卵ら奮闘

薩摩川内・東郷 諏訪神社



宮之城技専生「実習」で改築

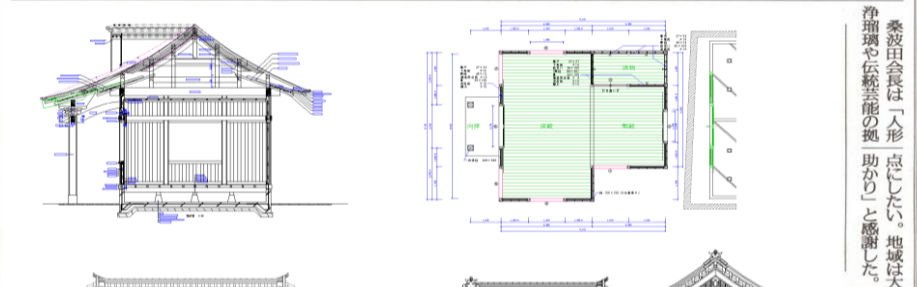
薩摩川内市東郷町香洲にある諏訪神社の改築に、宮大工の卵たちが奮闘している。県立宮之城高等技術専門学校(つま町)の生徒が実習として引き受け、昨年は本堂を、今年は拝殿を建築。同校が初めて手がける実物の社寺建築とあって、生徒はいい経験になったと口をそろえた。

「木の変化見通せ達成感」

外観がほぼ出来上がった諏訪神社の拝殿。薩摩川内市東郷町香洲の拝殿は約七十平方メートル、建築士学科三年生二十人が昨年十月取りかかり、三月五日に外観がほぼ完成した。材料は地元民が切り出した杉。取組が激しくすき間や割れが生じやすく苦労したという。

埼玉県の社建築業会社に就職する田中辰典さん(三〇)は「直線と曲線のメリハリが難しかったが、達成感いっぱい。長く残るものなので木の変化を見通す大切さを学んだ。同校からは今春、三人が宮大工の道に進む。拝殿の瓦工事と塗装は民間業者が請け負い、同校実習生が補助する。生徒が意や願を担当する。夏にも全体が出来上がる見通しだ。

諏訪神社は旧社殿が老朽化し、氏子や住民で改築推進委員会(桑波田景美会長)を組織。費用がかかる、同校の木造建築施工現場実習として依頼した。



■Data
 建築主/斧淵地区諏訪神社改築建設委員会
 会長 桑波田景美
 施工主/斧淵地区諏訪神社改築建設委員会
 場所/薩摩川内市東郷町斧淵字宮原6402-3
 種別/諏訪神社拝殿改築(外装工事)
 面積/67㎡

■Schedule
 工期/平成20年10月～平成21年3月

■Trainee
 大工工事/建築工学科 3期生

